



980 GC

ホイールローダ

技術仕様

コンフィギュレーションおよび機能は地域により異なります。利用可能かどうかは、地域のCat®ディーラにお問い合わせください。

目次

仕様.....	2
エンジン.....	2
質量.....	2
運転仕様.....	2
バケット容量.....	2
トランスミッション.....	2
整備交換時の容量.....	2
エアコンディショニングシステム.....	2
油圧システム.....	3
タイヤ.....	3
騒音.....	3
キャブ.....	3
ブレーキ.....	3
寸法.....	4
タイヤオプション.....	5
バケットフィルファクターおよび選択ガイド.....	6
運転仕様 - バケット.....	7
フォーク仕様.....	12
標準およびオプション装備品.....	15
980 GCの環境に関する宣言.....	16

980 GCホイールローダの仕様

エンジン

エンジンモデル	CAT® C13A	
エンジン出力 (1,700 rpm時)	313 kW	420 hp
ISO 14396		
ISO 14396 (DIN)	426 mhp (PS)	
定格出力 (グロス) (1,700 rpm時)	317 kW	425 hp
SAE J1995		
定格出力 (ネット) (1,700 rpm時)	293 kW	393 hp
ISO 9249, SAE J1349		
ISO 9249 (DIN)	398 mhp (PS)	
エンジントルク (1,200 rpm時)	2,185 N·m	1,612 lbf·ft
ISO 14396		
総トルク (1,200 rpm時)	2,206 N·m	1,627 lbf·ft
SAE J1995		
定格トルク (ネット) (1,100 rpm時)	2,086 N·m	1,539 lbf·ft
ISO 9249, SAE J1349、 EEC 80/1269		
内径	130 mm	5.12 in
行程	157 mm	6.18 in
総行程容積 (排気量)	12.5 L	763 in ³

- CATエンジンは、米国EPA Tier 4 Final、EUステージV、韓国ステージV、中国オフロードStage IV、日本オフロード法2014年基準の各排出ガス基準に適合しています。
 - 公称出力は、製造時点で有効な指定規格の下で試験した場合の値です。
 - 表示されている定格出力 (ネット) は、エンジンにファン、オルタネータ、エアクリーナ、後処理装置が装備された状態で、フライホイール部で得られる出力です。
 - アフタートリートメントシステム付きCATディーゼルエンジンでは、ULSD(硫黄含有量が15 ppm以下の超低硫黄ディーゼル燃料) または次を上限として、低炭素強度燃料**を混合したULSDを使用*する必要があります。
 - 20%のバイオディーゼルFAME (脂肪酸メチルエステル) ***
 - 100%の再生可能ディーゼル、HVO(水素化植物油)、およびGTL (ガス液化) 燃料
- 適切な用途については、ガイドラインを参照してください。詳細については、Catディーラにお問い合わせいただくか、『Caterpillar推奨の機械油水類』(SEBU6250) を参照してください。
- *Caterpillarのエンジンはこれらの代替燃料に対応していますが、地域によっては使用が許可されていない場合もあります。
- **排気管での低炭素強度燃料からの温室効果ガス排出量は、従来の燃料と基本的に同じです。
- ***後処理装置のないエンジンは、より高い混合率に対応し、最大100%のバイオディーゼルを使用できます (混合率が20%を超えるバイオディーゼルの使用については、Catディーラにお問い合わせください)。

質量

運転質量	29,760 kg	65,610 lb
------	-----------	-----------

- 標準外気冷却、オープンディファレンシャルアクスル、Maxam MS405 L4タイヤ、標準カウンタウエイト、油水類満タン、オペレータ、BOCE付き5.5 m³ (7.2 yd³) バケットを装備した車両仕様構成に基づく質量

運転仕様

静止転倒荷重 (全40°回転時)		
タイヤたわみあり	19,251 kg	42,441 lb
タイヤたわみなし	20,452 kg	45,089 lb
掘削力	212 kN	47,660 lbf

- "質量"の項で定義した車両仕様構成の場合
- ISO 14397-1:2007第1～6項に完全適合 (計算と試験間に2% 検証を義務付け)

バケット容量

バケットラインアップ	4.3～5.8 m ³	5.75～7.5 yd ³
------------	------------------------	--------------------------

トランスミッション

前進1速	6.6 km/h	4.1 mph
前進2速	12.7 km/h	7.9 mph
前進3速	22.5 km/h	14.0 mph
前進4速	39.8 km/h	24.7 mph
後進1速	7.6 km/h	4.7 mph
後進2速	14.5 km/h	9.0 mph
後進3速	25.7 km/h	16.0 mph
後進4速	39.8 km/h	24.7 mph

- 回転半径が913 mm (36 in) の標準L4タイヤが装着された標準車両で、バケットが空のときの最高走行速度

整備交換時の容量

燃料タンク	426 L	112.5 gal
尿素水 (DEF) タンクサイズ	21 L	5.6 gal
冷却系統	52 L	13.7 gal
クランクケース	37 L	9.8 gal
トランスミッション	77 L	20.3 gal
ディファレンシャルおよびファイナル ドライブ - フロント	84 L	22.2 gal
ディファレンシャルおよびファイナル ドライブ - リア	84 L	22.2 gal
作動油タンク	153 L	40.4 gal

エアコンディショニングシステム

当機のエアコンディショニングシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒R134aまたはR1234yfを使用。ガスの識別についてはラベルまたは説明書を参照してください。

- *R134a (地球温暖化係数=1,430) を使用した場合、システムには1,476 kgの冷媒、つまり2.145メートルトン (2.365米トン) のCO₂相当物が含まれます。
- *R1234yf (地球温暖化係数=0.501) を使用した場合、システムには1,476 kgの冷媒、つまり0.001メートルトンのCO₂相当物が含まれます。

油圧システム

作業装置システムポンプタイプ	可変容量ピストン、 ロードセンシング	
作業装置システム		
最大流量 (2,250 rpm時)	415 L/min	110 gal/min
最大動作圧力	28,200 kPa	4,090 psi
第3バルブ最大流量	250 L/min	66 psi
第3バルブ最大動作圧力	28,680 kPa	3,000 psi
油圧サイクルタイム		
運搬位置からの上げ	5.3秒	
ダンプ(最大上げ時)	1.7秒	
下げ、空け、浮き下げ	3.1秒	
合計サイクルタイム	10.1秒	

タイヤ*

以下からお選びいただけます。

Triangle 29.5R25 ★★ L3 (TB598)
 Triangle 29.5-25 28PR L3 (TL612)
 Triangle 29.5R25 ★★ L4 (TB598S)
 Triangle 26.5R25 ★★ L5 (TB598S+)
 Maxam 29.5R25 ★★ L3 (MS302)
 Maxam 29.5R25 ★★ L4 (MS405 DUMPXTRA)
 Maxam 29.5R25 ★★ L5 (MS503)
 ブリヂストン29.5R25 ★ L3 (VJT)
 ブリヂストン29.5-25 28PR L3 (VL2)
 ブリヂストン29.5R25 ★/★★ L4 (VSNT)
 ブリヂストン29.5-25 ★ L5 (VSDT)

*タイヤは地域によって異なります。詳細については、最寄りのCatディーラーにお問い合わせください。

騒音

オペレータ音圧レベル (ISO 6396:2008)	74 dB (A)
外部音響出力レベル (ISO 6395:2008)	112 dB (A)
オペレータ音圧レベル (ISO 6396:2008)	74 dB (A) *
外部音響出力レベル (ISO 6395:2008)	109 dB (A) **

*EU指令および英国指令の採用国を含む
 **EU騒音指令2000/14/ECおよびイギリス騒音規制2001 No. 1701

キャブ

転倒時運転者保護構造 (ROPS、Rollover protective structure) / 落下物保護構造 (FOPS、Falling object protective structure)	ROPS/FOPSは ISO 3471:2008および ISO 3449:2005 Level II 規格に適合
--	--

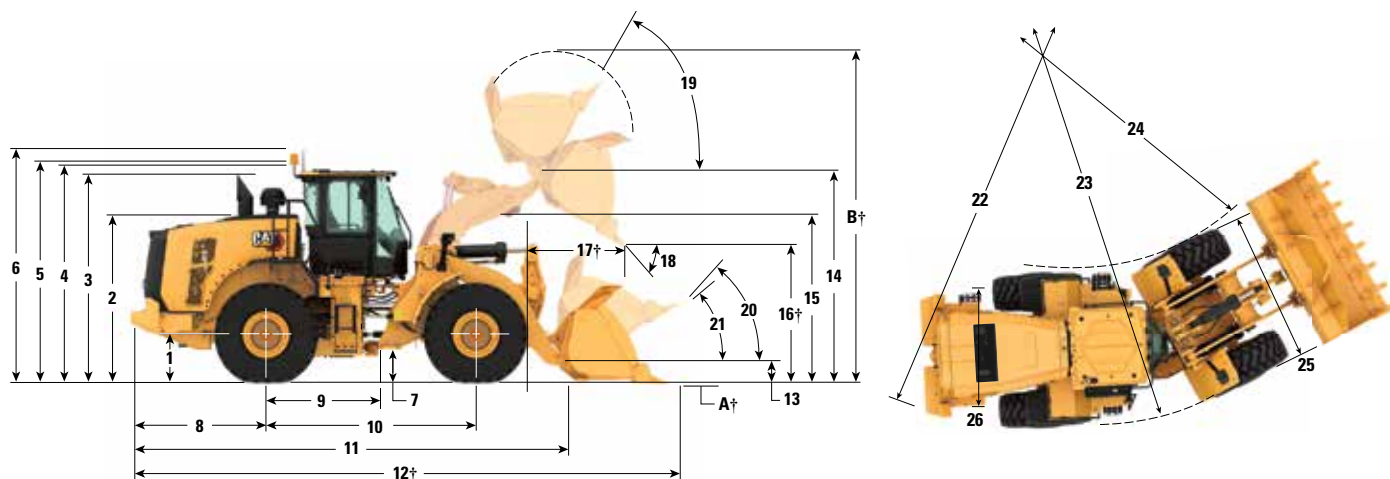
ブレーキ

ブレーキ	ブレーキは ISO 3450:2011 基準に適合
------	---------------------------

980 GCホイールローダの仕様

寸法

すべての寸法は、Maxam MS405S L4ラジアルタイヤ装着時の概算値です。



1	アクスル中心線までの高さ	862 mm	2'8"
2	フード最上部までの高さ	3,042 mm	9'10"
3	全高(マフラ上端まで)	3,742 mm	12'3"
4	ROPS頂部までの高さ	3,807 mm	12'5"
5	Product Link (プロダクトリンク) アンテナ最上部までの高さ	3,813 mm	12'5"
6	黄色回転灯最上部までの高さ	4,086 mm	13'4"
7	最低地上高	434 mm	1'4"
8	リアアクスルの中心線からカウンタウエイトの端まで	2,606 mm	8'5"
9	リアアクスルの中心線からヒッチまで	1,900 mm	6'2"
10	ホイールベース	3,800 mm	12'5"
11	全長(バケットなし)	8,093 mm	26'6"
12	輸送時長さ(バケット地上時)*†	9,685 mm	31'8"
13	ヒンジピン高さ(運搬時高さ)	642 mm	2'1"
14	ヒンジピン高さ(最大リフト時)	4,532 mm	14'9"
15	リフトアームクリアランス(最大リフト時)	3,843 mm	12'6"
16	ダンピングクリアランス(最大リフトおよび45°ダンプ時)*†	3,199 mm	10'5"
17	ダンピングリーチ(最大リフトおよび45°ダンプ時)*†	1,494 mm	4'9"
18	ダンプ角度(最大リフトおよびダンプ時(停止時))*	52°	
19	ラックバック角度(最大リフト時)*	61°	
20	ラックバック角度(運搬姿勢時高さ)*	49°	
21	ラックバック角度(地上時)*	41°	
22	最小旋回半径(カウンタウエイト端)	13,459 mm	44'2"
23	最小旋回半径(最外輪外側)	13,503 mm	44'3"
24	最小旋回半径(内輪内側)	7,377 mm	24'2"
25	車両全幅(積荷なし)	2,819 mm	9'2"
	車両全幅(積載時)	2,837 mm	9'3"
26	トレッド幅	2,230 mm	7'3"

*BOCEを装備した5.5 m³ (7.25 yd³) 汎用ピンオンバケットの場合(その他のバケットについては運転仕様を参照してください)。

†寸法は運転仕様のチャートに一覧で掲載しています。

高さおよびタイヤに関連するすべての寸法は、Maxam MS405S L4ラジアルタイヤを装着した場合の寸法です(その他のタイヤについては、タイヤオプションチャートを参照してください)。“車両全幅”は、タイヤ膨張分を含むタイヤ膨らみ幅の寸法です。

タイヤオプション

タイヤブランド	Triangle	Triangle	Triangle	Triangle	Maxam
タイヤサイズ	29.5R25	29.5-25	29.5R25	29.5R25	29.5R25
トレッドタイプ	L-3	L-3	L-4	L-5	L-3
トレッドパターン	TB598	TL612	TB598S	TB538S+	MS302
車両全幅 – 最大 (積荷なし) *	3,037 mm 9'10"	2,807 mm 9'2"	2,817 mm 9'2"	3,045 mm 9'10"	3,054 mm 10'0"
車両全幅 – 最大 (積荷あり) *	3,094 mm 10'2"	2,836 mm 9'3"	3,074 mm 10'1"	3,053 mm 10'0"	3,079 mm 10'1"
垂直方向寸法の変化 (フロントおよびリアの平均)		10 mm 0.40"	11 mm 0.43"	32 mm 1.26"	-6 mm -0.24"
水平リーチの変化		-9.5 mm -0.38"	-6 mm -0.24"	-25.40 mm -1.0"	-19 mm -0.75"
最小旋回半径の変化 (最外輪外側)		-129 mm -5.08"	-10 mm -0.40"	-20.50 mm -0.81"	-7.5 mm -0.30"
最小旋回半径の変化 (内輪内側)		129 mm 5.08"	10 mm 0.40"	20.5 mm 0.81"	8 mm 0.31"
運転質量の変化 (バラストなし)		-313 kg -690 lb	323 kg 712 lb	904 kg 1,993 lb	80 kg 176 lb
静止転倒荷重の変化 – 直進時		-238 kg -525 lb	245 kg 540 lb	687 kg 1,515 lb	61 kg 134 lb
静止転倒荷重の変化 – アーティキュレート時		-208 kg -459 lb	215 kg 474 lb	601 kg 1,325 lb	53 kg 117 lb
リアアクスルオシレーション角度	±13 °	±13 °	±13 °	±13 °	±13 °

注記: タイヤは地域によって異なります。詳細については、最寄りのCatディーラーにお問い合わせください。

*タイヤ膨らみ幅 (タイヤ膨張分含む)

タイヤブランド	Maxam	Maxam	ブリヂストン	ブリヂストン	ブリヂストン	ブリヂストン
タイヤサイズ	29.5R25	29.5R25	29.5R25	29.5-25	29.5R25	29.5R25
トレッドタイプ	L-4	L-5	L-3	L-3	L-4	L-5
トレッドパターン	MS405 DUMPXTRA	MS503	VJT	VL2	VSNT	VSDT
車両全幅 – 最大 (積荷なし) *	2,819 mm 9'2"	2,819 mm 9'2"	2,835 mm 9'3"	2,782 mm 9'1"	2,818 mm 9'2"	2,818 mm 9'2"
車両全幅 – 最大 (積荷あり) *	2,837 mm 9'3"	3,086 mm 10'1"	3,079 mm 10'1"	3,028 mm 9'9"	2,835 mm 9'3"	2,835 mm 9'3"
垂直方向寸法の変化 (フロントおよびリアの平均)	-24 mm -0.94"	7 mm 0.28"	-4 mm -0.16"	18 mm 0.71"	24 mm 0.08"	12 mm 0.47"
水平リーチの変化	-6 mm -0.24"	-27 mm -1.06"	-4.5 mm -0.18"	3 mm 0.12"	-25 mm -0.08"	-24.5 mm -0.97"
最小旋回半径の変化 (最外輪外側)	-128.5 mm -5.06"	-4 mm -0.16"	-7.5 mm -0.30"	-33 mm -1.30"	-129.5 mm -0.42"	-129.5 mm -5.10"
最小旋回半径の変化 (内輪内側)	128.5 mm 5.06"	4 mm 0.16"	7.5 mm 0.30"	33 mm 1.30"	129.5 mm 0.42"	129.5 mm 5.10"
運転質量の変化 (バラストなし)	220 kg 485 lb	1,108 kg 2,443 lb	-76 kg -168 lb	-236 kg -520 lb	532 mm 1'7"	1,108 kg 2,443 lb
静止転倒荷重の変化 – 直進時	167 kg 368 lb	842 kg 1,856 lb	-58 kg -128 lb	-179 kg -395 lb	404 mm 1'3"	842 kg 1,856 lb
静止転倒荷重の変化 – アーティキュレート時	146 kg 322 lb	737 kg 1,625 lb	-51 kg -112 lb	-157 kg -346 lb	354 mm 1'2"	737 kg 1,625 lb
リアアクスルオシレーション角度	±13 °	±13 °	±13 °	±13 °	±13 °	±13 °

注記: タイヤは地域によって異なります。詳細については、最寄りのCatディーラーにお問い合わせください。

*タイヤ膨らみ幅 (タイヤ膨張分含む)

980 GCホイールローダの仕様

バケットフィルファクターおよび選択ガイド

バケットのサイズは、材料密度と想定されるフィルファクターに基づいて選択する必要があります。Catパフォーマンスシリーズのバケットでは、長いフロア、広いバケット開口部、拡大された荷の保持角度、丸みをつけたサイドボード、一体型のスピンガードが特長で、従来製品またはCAT以外のバケットよりもフィルファクターが大幅に改善されています。そのため、このバケットが実際に積込できる容量は、定格容量を上回ることがあります。

ルーズマテリアル		フィルファクター(%)*	取扱マテリアル密度
土/粘土		115	1.5~1.7
砂および砂利		115	1.5~1.7
アグリゲート:	25~76 mm (1~3 in)	110	1.6~1.7
	19 mm (0.75 in) 以下	105	1.8
岩石用:	76 mm (3 in) 以上	100	1.6

*ISO 7546:1983定格容量に対する比率
注記: 達成できるフィルファクターは、材料が洗浄されているかどうかによっても異なります。

取扱マテリアル密度			kg/m³	900	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400
標準リンケージ	ビンオン式	ゼネラルパーパス	5.50 m³ (7.25 yd³)						6.30 m³ (8.25 yd³)				5.50 m³ (7.25 yd³)						
			5.80 m³ (7.50 yd³)					6.70 m³ (8.75 yd³)				5.80 m³ (7.50 yd³)							
	フラットフロア	5.70 m³ (7.50 yd³)					6.60 m³ (8.50 yd³)				5.70 m³ (7.50 yd³)								
	フックオン	ゼネラルパーパス	5.40 m³ (7.00 yd³)					6.20 m³ (8.00 yd³)				4.40 m³ (5.75 yd³)							
			5.70 m³ (7.50 yd³)					6.60 m³ (8.50 yd³)				4.60 m³ (6.00 yd³)							
	取扱マテリアル密度			lb/yd³	1,517	1,685	1,854	2,022	2,191	2,359	2,528	2,696	2,865	3,033	3,202	3,370	3,539	3,707	3,876
バケットフィルファクター 115% 110% 105% 100% 95%																			

注記: すべてのバケットにボルトオンエッジが示されています。
*ご利用いただけるバケットは地域により異なる場合があります。

取扱 マテリアル密度			kg/m³	300	400	500	600	700	800	900	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200	2,300	
標準リンケージ	ビンオン式	岩石	4.30 m³ (5.50 yd³)																						
		石炭	8.40 m³ (11.00 yd³)																						
取扱 マテリアル密度			lb/yd³	506	674	843	1,011	1,180	1,348	1,517	1,685	1,854	2,022	2,191	2,359	2,528	2,696	2,865	3,033	3,202	3,370	3,539	3,707	3,876	
バケットフィルファクター 115% 110% 105% 100% 95%																									

注記: すべてのバケットにボルトオンエッジが示されています。
*ご利用いただけるバケットは地域により異なる場合があります。
**ツースとセグメントを装着した岩石用、スベードバケット、およびL5タイヤを装着した機械

運転仕様 – バケット

リンケージ		標準リンケージ			
バケットタイプ		ゼネラルパーパス – ピンオン式			
エッジのタイプ		ボルトオン カッティングエッジ	ツースと セグメント	ボルトオン カッティングエッジ	ツースと セグメント
容量 – 定格	m ³	5.50	5.50	5.80	5.80
	yd ³	7.25	7.25	7.50	7.50
容量 – 満杯率110%時の定格	m ³	6.10	6.10	6.40	6.40
	yd ³	8.00	8.00	8.25	8.25
幅	mm	3,468	3,533	3,468	3,533
	ft/in	11'4"	11'7"	11'4"	11'7"
16† ダンプ・クリアランス (最大リフトおよび45°ダンプ時)	mm	3,278	3,105	3,241	3,069
	ft/in	10'9"	10'2"	10'7"	10'0"
17† ダンプグリーチ (最大リフトおよび45°ダンプ時)	mm	1,478	1,636	1,511	1,670
	ft/in	4'10"	5'4"	4'11"	5'5"
リーチ (リフトアーム水平、バケット水平時)	mm	2,961	3,193	3,011	3,244
	ft/in	9'8"	10'5"	9'10"	10'7"
A† 掘削深さ	mm	114	104	114	104
	in	4.4"	4"	4.4"	4"
12† 全長	mm	9,615	9,871	9,665	9,920
	ft/in	31'7"	32'5"	31'9"	32'7"
B† 全高 (バケット最大リフト時)	mm	6,430	6,430	6,490	6,490
	ft/in	21'2"	21'2"	21'4"	21'4"
ローダ最小旋回半径 (バケットを運搬姿勢にしたとき)	mm	7,619	7,724	7,632	7,737
	ft/in	25'0"	25'5"	25'1"	25'5"
静止転倒荷重 (直進時、タイヤたわみあり)	kg	22,328	22,032	22,193	21,895
	lb	49,226	48,574	48,928	48,271
静止転倒荷重 (直進時、タイヤたわみなし)	kg	23,673	23,373	23,544	23,242
	lb	52,191	51,530	51,907	51,240
静止転倒荷重 (アーティキュレート時、 タイヤたわみあり)	kg	19,322	19,025	19,192	18,894
	lb	42,598	41,945	42,312	41,654
静止転倒荷重 (アーティキュレート時、 タイヤたわみなし)	kg	20,516	20,216	20,393	20,091
	lb	45,230	44,569	44,959	44,293
掘削力 (§)	kN	217	214	209	207
	lbf	48,898	48,251	47,174	46,541
運転質量*	kg	29,425	29,643	29,501	29,719
	lb	64,871	65,351	65,038	65,519

*ここに示した静止転倒荷重と運転質量は、標準外気冷却、オープンディファレンシャルアクスル、Maxam MS405 L4タイヤ、標準カウンタウエイト、油水類満タン、オペレータ乗車、BOCE付き5.5 m³ (7.2 yd³) バケットを装備した車両仕様構成時のものです。

** ロックバケットの仕様は、Maxam 29.5R25 MS503 L5ラジアルタイヤ装着時のものです。

†説明図は寸法チャートにあります。

(§) ISO 14397-2:2007に基づき、バケットヒンジピンを軸として、カッティングエッジの先端から100 mm (4 in) 後ろのところで測定

(タイヤたわみあり) ISO 14397-1:2007第1～6項に完全適合 (計算と試験間に2%検証を義務付け)

(タイヤたわみなし) ISO 14397-1:2007第1～5項に適合

バケットとワークツールの装備は、地域によって異なる場合があります。詳細については、最寄りのCatディーラにお問い合わせください。

980 GCホイールローダの仕様

運転仕様 – バケット

リンケージ		標準リンケージ			
バケットタイプ		ゼネラルパーパス – フックオン – Fusion™			
エッジのタイプ		ボルトオン カッティングエッジ	ツースと セグメント	ボルトオン カッティングエッジ	ツースと セグメント
容量 – 定格	m³	5.40	5.40	5.70	5.70
	yd³	7.00	7.00	7.50	7.50
容量 – 満杯率110%時の定格	m³	5.90	5.90	6.30	6.30
	yd³	7.75	7.75	8.25	8.25
幅	mm	3,447	3,546	3,447	3,447
	ft/in	11'3"	11'7"	11'3"	11'3"
16† ダンプ・クリアランス (最大リフトおよび45°ダンプ時)	mm	3,163	3,009	3,096	2,937
	ft/in	10'4"	9'10"	10'1"	9'7"
17† ダンピングリーチ (最大リフトおよび45°ダンプ時)	mm	1,608	1,751	1,652	1,788
	ft/in	5'3"	5'8"	5'5"	5'10"
リーチ (リフトアーム水平、バケット水平時)	mm	3,134	3,343	3,214	3,421
	ft/in	10'3"	10'11"	10'6"	11'2"
A† 掘削深さ	mm	118	123	118	118
	in	4.6"	4.8"	4.6"	4.6"
12† 全長	mm	9,792	10,021	9,873	10,103
	ft/in	32'2"	32'11"	32'5"	33'2"
B† 全高 (バケット最大リフト時)	mm	6,505	6,505	6,573	6,573
	ft/in	21'5"	21'5"	21'7"	21'7"
ローダ最小旋回半径 (バケットを運搬姿勢にしたとき)	mm	7,697	7,820	7,723	7,804
	ft/in	25'4"	25'8"	25'5"	25'8"
静止転倒荷重 (直進時、タイヤたわみあり)	kg	20,528	20,265	20,333	20,177
	lb	45,256	44,677	44,826	44,483
静止転倒荷重 (直進時、タイヤたわみなし)	kg	21,824	21,558	21,634	21,476
	lb	48,114	47,528	47,695	47,348
静止転倒荷重 (アーティキュレート時、 タイヤたわみあり)	kg	17,614	17,351	17,433	17,277
	lb	38,833	38,254	38,433	38,089
静止転倒荷重 (アーティキュレート時、 タイヤたわみなし)	kg	18,767	18,501	18,591	18,434
	lb	41,375	40,789	40,987	40,640
掘削力 (§)	kN	190	192	181	179
	lbf	42,872	43,285	40,713	40,283
運転質量*	kg	30,491	30,686	30,568	30,683
	lb	67,221	67,651	67,391	67,644

*ここに示した静止転倒荷重と運転質量は、標準外気冷却、オープンディファレンシャルアクスル、Maxam MS405 L4タイヤ、標準カウンタウエイト、油水類満タン、オペレータ乗車、BOCE付き5.5 m³ (7.2 yd³) バケットを装備した車両仕様構成時のものです。

** ロックバケットの仕様は、Maxam 29.5R25 MS503 L5ラジアルタイヤ装着時のものです。

†説明図は寸法チャートにあります。

(§) ISO 14397-2:2007に基づき、バケットヒンジピンを軸として、カッティングエッジの先端から100 mm (4 in) 後ろのところ測定

(タイヤたわみあり) ISO 14397-1:2007第1～6項に完全適合 (計算と試験間に2%検証を義務付け)

(タイヤたわみなし) ISO 14397-1:2007第1～5項に適合

バケットとワークツールの装備は、地域によって異なる場合があります。詳細については、最寄りのCatディーラにお問い合わせください。

運転仕様 – バケット

リンケージ		標準リンケージ	
バケットタイプ		ゼネラルパーパス - ピンオン式 - 摩耗	
エッジのタイプ		ボルトオン カuttingエッジ	ツースと セグメント
容量 – 定格	m ³	5.70	5.70
	yd ³	7.50	7.50
容量 – 満杯率110%時の定格	m ³	6.30	6.30
	yd ³	8.25	8.25
幅	mm	3,481	3,546
	ft/in	11'5"	11'7"
16† ダンプ・クリアランス (最大リフトおよび45°ダンプ時)	mm	3,201	3,046
	ft/in	10'6"	9'11"
17† ダンプ・リーチ (最大リフトおよび45°ダンプ時)	mm	1,552	1,693
	ft/in	5'1"	5'6"
リーチ (リフトアーム水平、バケット水平時)	mm	3,069	3,277
	ft/in	10'0"	10'9"
A† 掘削深さ	mm	114	119
	in	4.4"	4.6"
12† 全長	mm	9,723	9,951
	ft/in	31'11"	32'8"
B† 全高 (バケット最大リフト時)	mm	6,432	6,432
	ft/in	21'2"	21'2"
ローダ最小旋回半径 (バケットを運搬姿勢にしたとき)	mm	7,654	7,751
	ft/in	25'2"	25'6"
静止転倒荷重 (直進時、タイヤたわみあり)	kg	21,363	21,252
	lb	47,097	46,854
静止転倒荷重 (直進時、タイヤたわみなし)	kg	22,688	22,577
	lb	50,020	49,774
静止転倒荷重 (アーティキュレート時、 タイヤたわみあり)	kg	18,376	18,266
	lb	40,514	40,271
静止転倒荷重 (アーティキュレート時、 タイヤたわみなし)	kg	19,553	19,442
	lb	43,108	42,863
掘削力 (§)	kN	198	202
	lbf	44,706	45,478
運転質量*	kg	30,100	30,177
	lb	66,359	66,529

* ここに示した静止転倒荷重と運転質量は、標準外気冷却、オープンディファレンシャルアクスル、Maxam MS405 L4タイヤ、標準カウンタウエイト、油水類満タン、オペレータ乗車、BOCE付き5.5 m³ (7.2 yd³) バケットを装備した車両仕様構成時のものです。

** ロックバケットの仕様は、Maxam 29.5R25 MS503 L5ラジアルタイヤ装着時のものです。

† 説明図は寸法チャートにあります。

(§) ISO 14397-2:2007に基づき、バケットヒンジピンを軸として、カuttingエッジの先端から100 mm (4 in) 後ろのところで測定

(タイヤたわみあり) ISO 14397-1:2007第1～6項に完全適合 (計算と試験間に2%検証を義務付け)

(タイヤたわみなし) ISO 14397-1:2007第1～5項に適合

バケットとワークツールの装備は、地域によって異なる場合があります。詳細については、最寄りのCatディーラにお問い合わせください。

980 GCホイールローダの仕様

運転仕様 – バケット

リンケージ		標準リンケージ			
バケットタイプ		フラットフロア – ピンオン式		フラットフロア – ピンオン式 – ライト マテリアル (石炭)	フラットフロア – ピンオン式 – 摩耗 (FMT)
エッジのタイプ		ボルトオン カッティングエッジ	ツースと セグメント	ボルトオン カッティングエッジ	チップ
容量 – 定格	m ³	5.70	5.70	8.40	5.60
	yd ³	7.50	7.50	11.00	7.25
容量 – 満杯率110%時の定格	m ³	6.30	6.30	9.20	6.20
	yd ³	8.25	8.25	12.00	8.00
幅	mm	3,481	3,546	3,638	3,600
	ft/in	11'5"	11'7"	11'11"	11'9"
16† ダンプ・クリアランス (最大リフトおよび45°ダンプ時)	mm	3,096	2,930	2,915	2,943
	ft/in	10'1"	9'7"	9'6"	9'7"
17† ダンピングリーチ (最大リフトおよび45°ダンプ時)	mm	1,459	1,588	1,647	1,648
	ft/in	4'9"	5'2"	5'4"	5'4"
リーチ (リフトアーム水平、バケット水平時)	mm	3,093	3,302	3,354	3,335
	ft/in	10'1"	10'10"	11'0"	10'11"
A† 掘削深さ	mm	114	119	109	79
	in	4.4"	4.6"	4.2"	3.1"
12† 全長	mm	9,747	9,976	10,004	9,970
	ft/in	32'0"	32'9"	32'10"	32'9"
B† 全高 (バケット最大リフト時)	mm	6,473	6,473	6,761	6,473
	ft/in	21'3"	21'3"	22'3"	21'3"
ローダ最小旋回半径 (バケットを運搬姿勢にしたとき)	mm	7,661	7,758	7,804	7,773
	ft/in	25'2"	25'6"	25'8"	25'7"
静止転倒荷重 (直進時、タイヤたわみあり)	kg	21,197	21,013	21,071	20,491
	lb	46,732	46,327	46,455	45,176
静止転倒荷重 (直進時、タイヤたわみなし)	kg	22,492	22,306	22,464	21,787
	lb	49,586	49,176	49,524	48,033
静止転倒荷重 (アーティキュレート時、 タイヤたわみあり)	kg	18,261	18,077	18,100	17,535
	lb	40,258	39,852	39,905	38,658
静止転倒荷重 (アーティキュレート時、 タイヤたわみなし)	kg	19,410	19,224	19,344	18,684
	lb	42,793	42,383	42,646	41,191
掘削力 (§)	kN	196	199	166	208
	lbf	44,218	44,817	37,511	46,770
運転質量*	kg	29,962	30,095	30,222	30,769
	lb	66,055	66,348	66,628	67,833

*ここに示した静止転倒荷重と運転質量は、標準外気冷却、オープンディファレンシャルアクスル、Maxam MS405 L4タイヤ、標準カウンタウエイト、油水類満タン、オペレータ乗車、BOCE付き5.5 m³ (7.2 yd³) バケットを装備した車両仕様構成時のものです。

** ロックバケットの仕様は、Maxam 29.5R25 MS503 L5ラジアルタイヤ装着時のものです。

†説明図は寸法チャートにあります。

(§) ISO 14397-2:2007に基づき、バケットヒンジピンを軸として、カッティングエッジの先端から100 mm (4 in) 後ろのところで測定

(タイヤたわみあり) ISO 14397-1:2007第1~6項に完全適合 (計算と試験間に2%検証を義務付け)

(タイヤたわみなし) ISO 14397-1:2007第1~5項に適合

バケットとワークツールの装備は、地域によって異なる場合があります。詳細については、最寄りのCatディーラにお問い合わせください。

運転仕様 – バケット

リンケージ		標準リンケージ
バケットタイプ		ロック、スピード** – ピンオン式
エッジのタイプ		ツースとセグメント
容量 – 定格	m ³	4.30
	yd ³	5.50
容量 – 満杯率110%時の定格	m ³	4.70
	yd ³	6.25
幅	mm	3,525
	ft/in	11'6"
16† ダンプ・クリアランス (最大リフトおよび45°ダンプ時)	mm	3,111
	ft/in	10'2"
17† ダンプングリーチ (最大リフトおよび45°ダンプ時)	mm	1,767
	ft/in	5'9"
リーチ (リフトアーム水平、バケット水平時)	mm	3,278
	ft/in	10'9"
A† 掘削深さ	mm	109
	in	4.2"
12† 全長	mm	9,957
	ft/in	32'8"
B† 全高 (バケット最大リフト時)	mm	6,147
	ft/in	20'2"
ローダ最小旋回半径 (バケットを運搬姿勢にしたとき)	mm	7,744
	ft/in	25'5"
静止転倒荷重 (直進時、タイヤたわみあり)	kg	22,003
	lb	48,509
静止転倒荷重 (直進時、タイヤたわみなし)	kg	23,318
	lb	51,408
静止転倒荷重 (アーティキュレート時、 タイヤたわみあり)	kg	18,956
	lb	41,792
静止転倒荷重 (アーティキュレート時、 タイヤたわみなし)	kg	20,119
	lb	44,354
掘削力 (§)	kN	201
	lbf	45,317
運転質量*	kg	29,944
	lb	66,014

*ここに示した静止転倒荷重と運転質量は、標準外気冷却、オープンディファレンシャルアクスル、Maxam MS405 L4タイヤ、標準カウンタウエイト、油水類満タン、オペレータ乗車、BOCE付き5.5 m³ (7.2 yd³) バケットを装備した車両仕様構成時のものです。

** ロックバケットの仕様は、Maxam 29.5R25 MS503 L5ラジアルタイヤ装着時のものです。

†説明図は寸法チャートにあります。

(§) ISO 14397-2:2007に基づき、バケットヒンジピンを軸として、カッティングエッジの先端から100 mm (4 in) 後ろのところで測定

(タイヤたわみあり) ISO 14397-1:2007第1～6項に完全適合 (計算と試験間に2%検証を義務付け)

(タイヤたわみなし) ISO 14397-1:2007第1～5項に適合

バケットとワークツールの装備は、地域によって異なる場合があります。詳細については、最寄りのCatディーラにお問い合わせください。

980 GCホイールローダの仕様

フォーク仕様

フォーク仕様

1	タイン長さ	mm	1,829
		in	72.0
2	荷重中心	mm	914
		in	36.0
	静止転倒荷重 - 直進時 (フォークレベル)	kg	14,399
		lbs	31,736
	静止転倒荷重 - アーティキュレート時 (フォークレベル)	kg	12,474
		lbs	27,493
	定格積載質量 (SAE J1197 - FTSTL 50%)	kg	6,237
		lbs	13,747
	定格積載質量 (CEN EN 474-3不整地 - FTSTL 60%)	kg	7,485
		lbs	16,496
	定格積載質量 (CEN EN 474-3堅い平坦地 - FTSTL 80%)	kg	8,364
		lbs	18,435
3	最大全長	mm	10,365
		in	408.1
4	リーチ (フォークグラウンドレベル時)	mm	1,196
		in	47.1
5	*地面からタイン底部まで (最小高さおよびフォーク水平時)	mm	-120
		in	-4.7
6	リーチ (リフトアーム水平およびフォーク水平時)	mm	1,815
		in	71.4
7	リーチ (フォーク最大高さ時)	mm	888
		in	35.0
8	地面からタイン上部まで (アーム水平およびフォーク水平時)	mm	2,075
		in	81.7
9	地面からタイン上部まで (最大高さおよびフォーク水平時)	mm	4,343
		in	171.0
10	フォーク全高 (最大リフト時) (キャリッジ上部から地面まで)	mm	5,387
		in	212.1
11	クリアランス (最大リフトおよび最大ダンプ時)	mm	2,477
		in	97.5
12	水平からの最大吐出角度	角度	55
13	キャリッジ全幅	mm	2,821
		in	111.1
14	キャリッジ全高	mm	1,129
		in	44.4
15	タインを含めた幅 (最大幅)	mm	2,627
		in	103.4
16	タインを含めた幅 (最小幅)	mm	747
		in	29.4
	タイン幅 (シングルタイン)	mm	250.0
		in	9.8
	タイン厚さ	mm	85.0
		in	3.3
	タイン容量	kg	18,700
		lbs	41,215
	運転質量	kg	29,329
		lbs	64,641

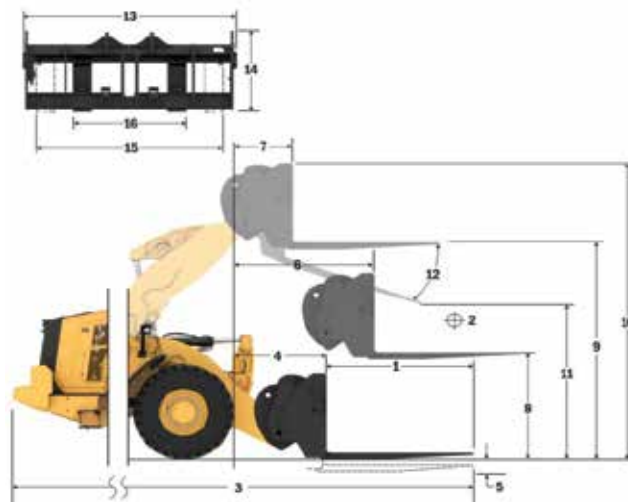
*負の値は地下を示します

980 GC S5 STD

建設用フォーク (FUSION)

108"キャリッジ 72"タイン
523-4199 523-4200

*ビルドGC 01B
*パラレルZバーリンケージ
*標準リフトコンフィギュレーション



- ◆ 積載質量 (SAE J1197)
- 積載質量 (CEN EN 474-3 - 不整地)
- ▲ 積載質量 (CEN EN 474-3 - 堅い平坦地)
- ◇ 静止転倒荷重 - アーティキュレート時
- 静止転倒荷重 - 直進時
- △ 油圧チルト容量
- + 油圧リフト能力

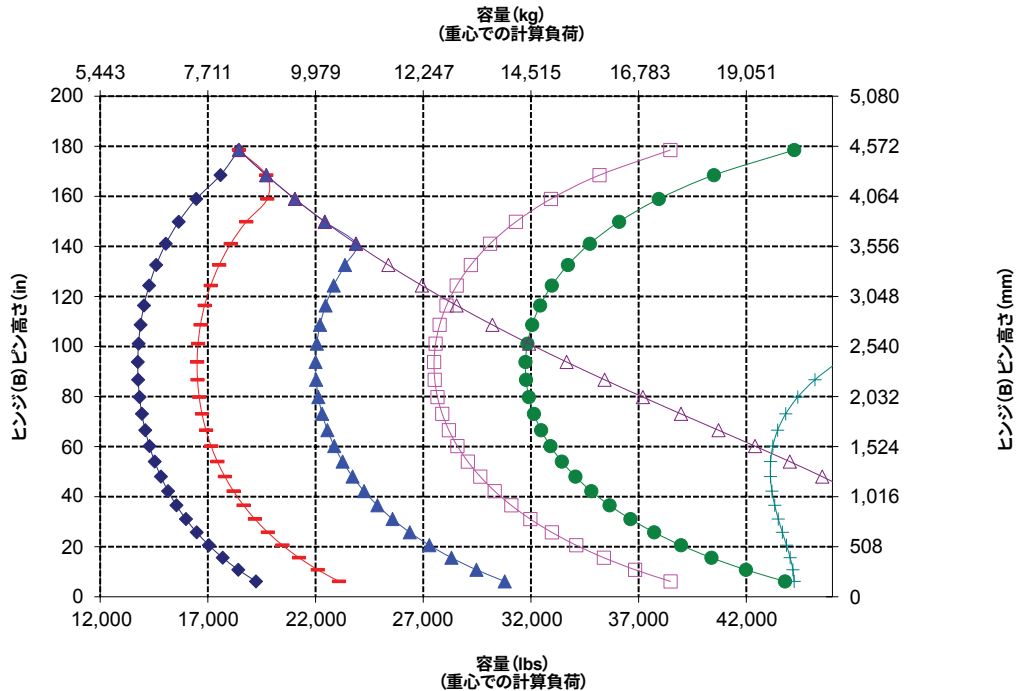
注記: 静止転倒荷重と運転質量は、次のローダコンフィギュレーションに基づくものです。MAXAM MS405 DX L4タイヤ、エアコンディショニング、ライドコントロール、パワートレインガード、油種類満タン、燃料タンク、冷却水、潤滑油、オペレータ乗車。

仕様および定格は、SAE* J1197、ISO 14397-1、CEN** EN 474-3の規格に準拠しています。

パレットフォーク装着ローダの定格作動荷重は次によって決まります。
SAE J1197: 全回転静止転倒荷重の50%または油圧限界。
CEN EN 474-3: 不整地での全回転静止転倒荷重の60%または油圧限界。
CEN EN 474-3: 堅い平坦地での全回転静止転倒荷重の80%または油圧限界。

*SAE - Society of Automotive Engineers、自動車技術者協会

**CEN - European Committee for Standardization、欧州標準化委員会



注意: タイン負荷容量を超えてはいけません。
個々のタイン容量は各タインの側面に刻印されています。

フォーク仕様

フォーク仕様

1	タイン長さ	mm	2,134
		in	84.0
2	荷重中心	mm	1,067
		in	42.0
	静止転倒荷重 - 直進時 (フォークレベル)	kg	13,723
		lbs	30,245
	静止転倒荷重 - アーティキュレート時 (フォークレベル)	kg	11,874
		lbs	26,171
	定格積載質量 (SAE J1197 - FTSTL 50%)	kg	5,937
		lbs	13,085
	定格積載質量 (CEN EN 474-3不整地 - FTSTL 60%)	kg	7,125
		lbs	15,702
	定格積載質量 (CEN EN 474-3堅い平坦地 - FTSTL 80%)	kg	7,426
		lbs	16,367
3	最大全長	mm	10,673
		in	420.2
4	リーチ (フォークグラウンドレベル時)	mm	1,199
		in	47.2
5	*地面からタイン底部まで (最小高さおよびフォーク水平時)	mm	-120
		in	-4.7
6	リーチ (リフトアーム水平およびフォーク水平時)	mm	1,815
		in	71.4
7	リーチ (フォーク最大高さ時)	mm	888
		in	35.0
8	地面からタイン上部まで (アーム水平およびフォーク水平時)	mm	2,080
		in	81.9
9	地面からタイン上部まで (最大高さおよびフォーク水平時)	mm	4,348
		in	171.2
10	フォーク全高 (最大リフト時) (キャリアッジ上部から地面まで)	mm	5,387
		in	212.1
11	クリアランス (最大リフトおよび最大ダンブ時)	mm	2,227
		in	87.7
12	水平からの最大吐出角度	角度	55
13	キャリアッジ全幅	mm	2,821
		in	111.1
14	キャリアッジ全高	mm	1,129
		in	44.4
15	タインを含めた幅 (最大幅)	mm	2,627
		in	103.4
16	タインを含めた幅 (最小幅)	mm	747
		in	29.4
	タイン幅 (シングルタイン)	mm	250.0
		in	9.8
	タイン厚さ	mm	90.0
		in	3.5
	タイン容量	kg	17,729
		lbs	39,075
	運転質量	kg	29,431
		lbs	64,866

*負の値は地下を示します

980 GC S5 STD

建設用フォーク (FUSION)

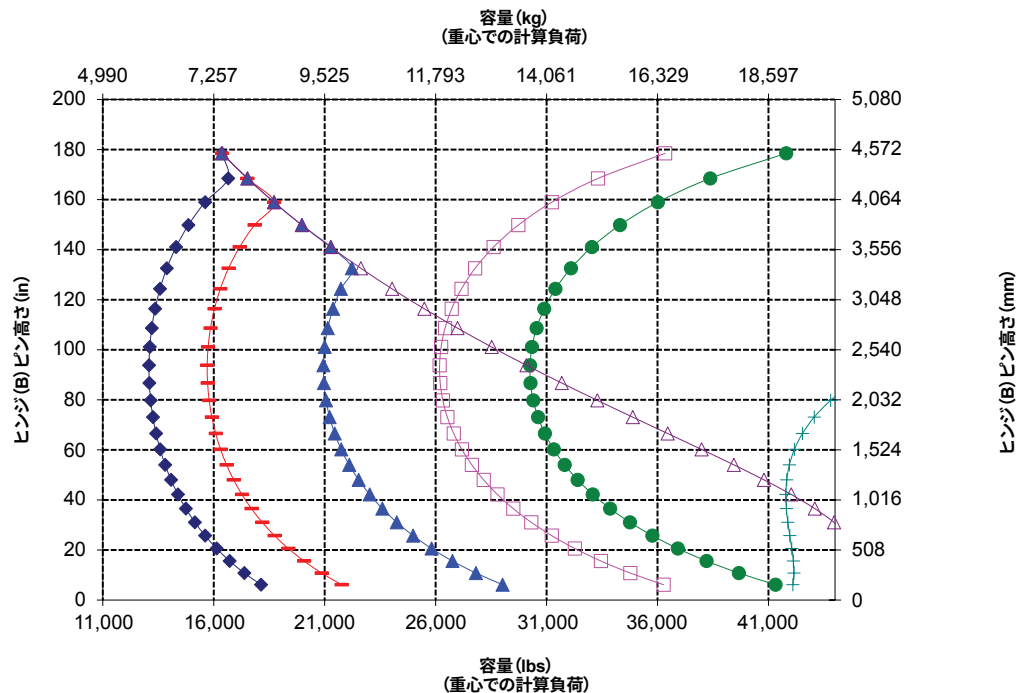
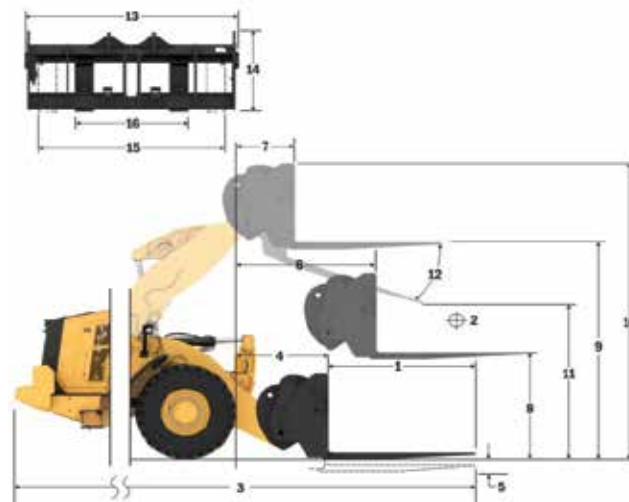
108"キャリアッジ

84"タイン

523-4199

523-4201

*ビルドGC 01B
*パラレルZバーリンゲージ
*標準リフトコンフィギュレーション



注記: 静止転倒荷重と運転質量は、次のローダコンフィギュレーションに基づくものです。MAXAM MS405 DX L4タイヤ、エアコンディショニング、ライドコントロール、パワートレーンガード、油種類満タン、燃料タンク、冷却水、潤滑油、オペレータ乗車。

仕様および定格は、SAE* J1197、ISO 14397-1、CEN** EN 474-3の規格に準拠しています。

パレットフォーク装着ローダの定格作動荷重は次によって決まります。
SAE J1197: 全回転静止転倒荷重の50%または油圧限界。
CEN EN 474-3: 不整地での全回転静止転倒荷重の60%または油圧限界。
CEN EN 474-3: 堅い平坦地での全回転静止転倒荷重の80%または油圧限界。

*SAE - Society of Automotive Engineers, 自動車技術者協会

**CEN - European Committee for Standardization, 欧州標準化委員会

注意: タイン負荷容量を超えてはいけません。
個々のタイン容量は各タインの側面に刻印されています。

980 GCホイールローダの仕様

フォーク仕様

フォーク仕様

1	タイン長さ	mm	2,438
		in	96.0
2	荷重中心	mm	1,219
		in	48.0
	静止転倒荷重 - 直進時 (フォークレベル)	kg	13,038
		lbs	28,736
	静止転倒荷重 - アーティキュレート時 (フォークレベル)	kg	11,261
		lbs	24,819
	定格積載質量 (SAE J1197 - FTSTL 50%)	kg	5,631
		lbs	12,410
	定格積載質量 (CEN EN 474-3 不整地 - FTSTL 60%)	kg	6,597
		lbs	14,540
	定格積載質量 (CEN EN 474-3 堅い平坦地 - FTSTL 80%)	kg	6,597
		lbs	14,540
3	最大全長	mm	10,982
		in	432.4
4	リーチ (フォークグラウンドレベル時)	mm	1,203
		in	47.4
5	*地面からタイン底部まで (最小高さおよびフォーク水平時)	mm	-118
		in	-4.6
6	リーチ (リフトアーム水平およびフォーク水平時)	mm	1,820
		in	71.6
7	リーチ (フォーク最大高さ時)	mm	893
		in	35.2
8	地面からタイン上部まで (アーム水平およびフォーク水平時)	mm	2,081
		in	81.9
9	地面からタイン上部まで (最大高さおよびフォーク水平時)	mm	4,350
		in	171.3
10	フォーク全高 (最大リフト時) (キャリッジ上部から地面まで)	mm	5,387
		in	212.1
11	クリアランス (最大リフトおよび最大ダンプ時)	mm	1,973
		in	77.7
12	水平からの最大吐出角度	角度	55
13	キャリッジ全幅	mm	2,821
		in	111.1
14	キャリッジ全高	mm	1,127
		in	44.4
15	タインを含めた幅 (最大幅)	mm	2,629
		in	103.5
16	タインを含めた幅 (最小幅)	mm	747
		in	29.4
	タイン幅 (シングルタイン)	mm	250.0
		in	9.8
	タイン厚さ	mm	90.0
		in	3.5
	タイン容量	kg	15,750
		lbs	34,713
	運転質量	kg	29,582
		lbs	65,199

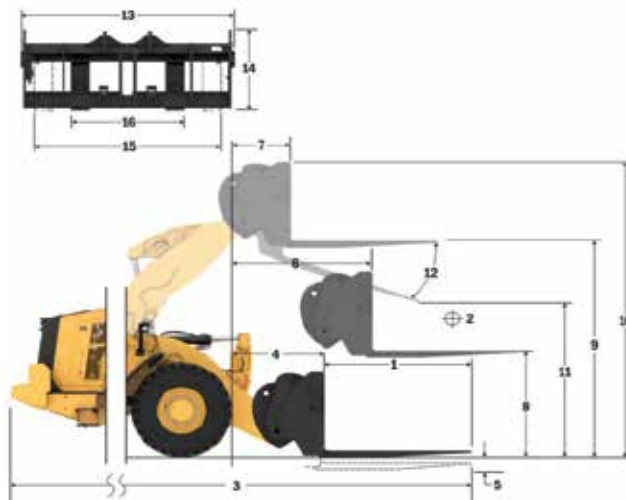
*負の値は地下を示します

980 GC S5 STD

建設用フォーク (FUSION)

108"キャリッジ 96"タイン
523-4199 523-4202

*ビルドGC 01B
*パラレルZバーリンケージ
*標準リフトコンフィギュレーション



- ◆ 積載質量 (SAE J1197)
- 積載質量 (CEN EN 474-3 - 不整地)
- ▲ 積載質量 (CEN EN 474-3 - 堅い平坦地)
- ◇ 静止転倒荷重 - アーティキュレート時
- 静止転倒荷重 - 直進時
- △ 油圧テール容量
- ✦ 油圧リフト能力

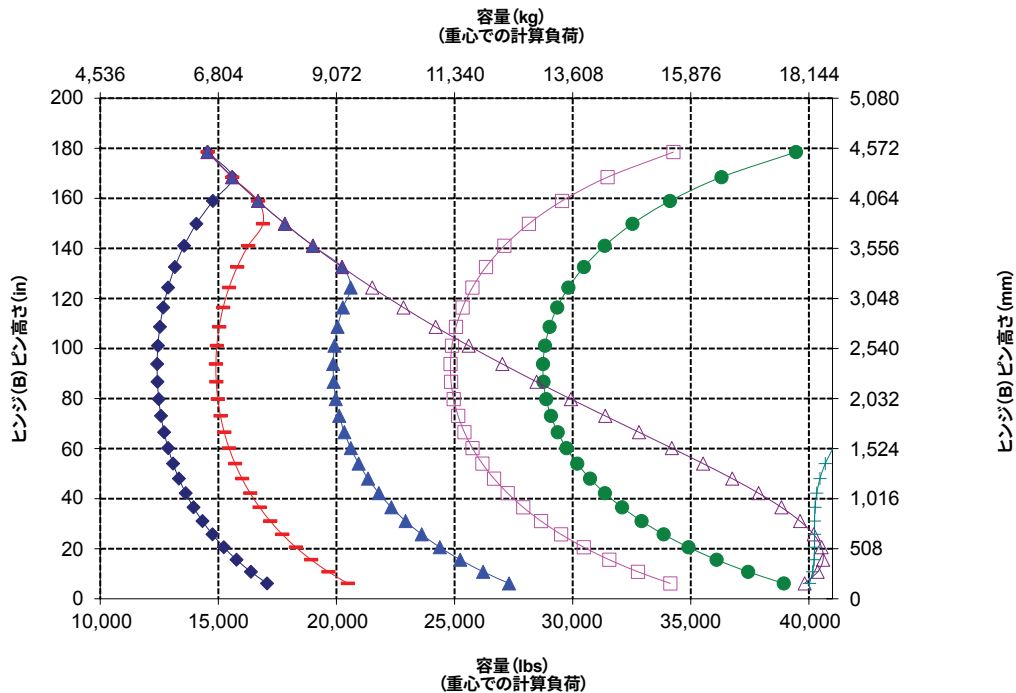
注記: 静止転倒荷重と運転質量は、次のローダコンフィギュレーションに基づくものです。MAXAM MS405 DX L4タイヤ、エアコンディショニング、ライドコントロール、パワートレーンガード、油種類タンク、燃料タンク、冷却水、潤滑油、オペレータ乗車。

仕様および定格は、SAE* J1197、ISO 14397-1、CEN** EN 474-3の規格に準拠しています。

パレットフォーク装着ローダの定格作動荷重は次によって決まります。
SAE J1197: 全回転静止転倒荷重の50%または油圧限界。
CEN EN 474-3: 不整地での全回転静止転倒荷重の60%または油圧限界。
CEN EN 474-3: 堅い平坦地での全回転静止転倒荷重の80%または油圧限界。

*SAE - Society of Automotive Engineers、自動車技術者協会

**CEN - European Committee for Standardization、欧州標準化委員会



注意: タイン負荷容量を超えてはいけません。
個々のタイン容量は各タインの側面に刻印されています。

標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Cat®ディーラにお問い合わせください。

	標準	オプション仕様		標準	オプション仕様
運転席			油圧システム		
エアコン(HVAC) (吹出口10個、キャブ外にフィルタユニット)	✓		ブレーキ/ファン用専用ポンプ	✓	
バケット/ワークツール機能 (油圧) ロックアウトスイッチ	✓		ロードセンシング機能付き専用ステアリングポンプ	✓	
キャブ(加圧式、騒音抑制型)	✓		ロードセンシング機能付き作業装置システム (パイロット式)	✓	
リアビューカメラ	✓		ライドコントロール		✓
CBラジオ対応	✓		S-O-S SM オイルサンプリングバルブ	✓	
コンピュータモニタリングシステム	✓		追加の専用1軸レバー付き第3機能		✓
ミラー (リアビュー、車外)	✓		電気装備		
パイロット油圧コントロール、リフト/チルト機能、2本の単軸レバーまたはジョイスティック	✓		可変後進警報ブザー	✓	
12V電源ソケット (10 A)	✓		オルタネータ (115 A、ブラシタイプ)	✓	
ラジオ対応	✓		バッテリー (メンテナンスフリー、2個、1,400 CCA)	✓	
ラジオ: DAB+/AM/FM/BT		✓	イグニッションキー、始動/停止	✓	
転倒時運転者保護構造 (ROPS、Rollover Protective Structure)/落下物保護構造 (FOPS、Falling Object Protective Structure)	✓		照明システム: 4個のハロゲン作業灯、キャブ取付け	✓	
CAT®コンフォートシート (布製、メカニカルサスペンション付き)	✓		照明システム: 8個のハロゲン作業灯、キャブ取付け		✓
エアサスペンションシート (ハイバック)		✓	照明システム: 4個または8個のLED作業灯、キャブ取付け		✓
エアサスペンションシート (ヒータ付き)		✓	ライト: LEDテールライト	✓	
ステアリングコラム (角度調整可能)	✓		ライト: 黄色回転灯		✓
ステアリング (デュアルモード)		✓	メインディスコネクトスイッチ	✓	
セカンダリステアリング (電気式) *		✓	ハイ/ロービームと前進および後進方向指示器付き走行ライト	✓	
トランスミッションニュートラライザ (調整式) ロックアウトスイッチ	✓		スタータ (電動、ヘビーデューティ)	✓	
ウィンドウ (スライド式、左右)	✓		始動および充電システム、24 V	✓	
ワイパ/ウォッシャー (フロントおよびリア)	✓		追加装置		
パワートレイン			自動潤滑システム		✓
アクスル (オープン/オープンディファレンシャル)	✓		カメラ、フロントビュー		✓
アクスル (リミテッドスリップディファレンシャル)		✓	CAT PAYLOAD**		✓
アクスル (オイルクーラ)		✓	商用CAT PAYLOAD***		✓
油圧式密閉湿式ディスクブレーキ	✓		冷間始動補助装置		✓
CAT C13Aエンジン	✓		フェンダリアエクステンションまたはローディング		✓
EIMS (Engine Idle Management System、エンジンアイドリング制御システム)	✓		フード、傾斜したエンジンエンクロージャ	✓	
オートアイドリングストップ機能 (AIS、Auto Idle Shutdown)	✓		L5トラクションタイヤ		✓
ラジエータファン (電子制御、油圧駆動式、温度検出機能、オンデマンド)	✓		L3ラジアルまたはバイアスプライタイヤ	✓	
ファン、リバース自動/手動コントロール		✓	パワートレインガード		✓
フィルタ (燃料、プライマリ/セカンダリ)	✓		プレクリーナ、スクリーン付きストラータチューブ		✓
燃料プライミングポンプ (電動)	✓		Product Link™対応	✓	
燃料/ウォータセパレータ	✓		後進時ストロボライト		✓
ラジエータ (ユニットコア、9フィン、ATAAC)	✓		ステアリングシリンダガード		✓
トルクコンバータ	✓		チルトシリンダガード		✓
トランスミッション、パワーシフト (前進4速/後進4速)、手動キックダウン2〜1機能付きオートマチック (2〜4速)	✓		ツールボックス		✓
リンケージ			可変後進警報ブザー (周囲騒音より3 dB高い)	✓	
クイックカプラコントロール		✓	キャブフロントウィンドウガード		✓
リフトおよびバケットリタートウディグキックアウト (電磁機械式)、機械式調整	✓				
Zバー、鋳鋼製チルトレバー	✓				

* 法令で定められている場合は標準

** 商取引には適しません。

*** ヨーロッパで販売中です。国によって認定は異なります。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。

980 GCの環境に関する宣言

次の情報は、本書の対象となっている地域で販売するために構成された、最終製造時の機械に適用されます。この宣言の内容は発効日時点で有効ですが、車両の機能および仕様に関連した内容は予告なしに変更されることがあります。詳細については、機械の取扱説明書を参照してください。

サステナビリティの実例および当社の進捗状況については、<https://www.caterpillar.com/ja/company/sustainability.html>をご覧ください。

エンジン

- CAT®エンジンは、米国EPA Tier 4 Final、EUステージV、韓国ステージV、中国オフロードStage IV、日本オフロード法2014年基準の各排出ガス基準に適合しています。
 - 公称出力は、製造時点で有効な指定規格の下で試験した場合の値です。
 - 表示されている定格出力（ネット）は、エンジンにファン、オルタネータ、エアクリーナ、後処理装置が装備された状態で、フライホイール部で得られる出力です。
 - アフタートリートメントシステム付きCATディーゼルエンジンでは、ULSD（硫黄含有量が15 ppm以下の超低硫黄ディーゼル燃料）または次を上限として、低炭素強度燃料**を混合したULSDを使用*する必要があります。
 - 20%のバイオディーゼルFAME（脂肪酸メチルエステル）***
 - 100%の再生可能ディーゼル、HVO（水素化植物油）、およびGTL（ガス液化）燃料
- 適切な用途については、ガイドラインを参照してください。詳細については、Catディーラにお問い合わせいただくか、『Caterpillar推奨の機械油種類』（SEBU6250）を参照してください。
- *Caterpillarのエンジンはこれらの代替燃料に対応していますが、地域によっては使用が許可されていない場合もあります。
- **排気管での低炭素強度燃料からの温室効果ガス排出量は、従来の燃料と基本的に同じです。
- ***後処理装置のないエンジンは、より高い混合率に対応し、最大100%のバイオディーゼルを使用できます（混合率が20%を超えるバイオディーゼルの使用については、Catディーラにお問い合わせください）。

エアコンディショニングシステム

- 当機のエアコンディショニングシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒R134aを使用。ガスの識別についてはラベルまたは取扱説明書を参照してください。
- *R134a（地球温暖化係数=1,430）を使用した場合、システムには1,476 kgの冷媒、つまり2.145メートルトン（2.365米トン）のCO₂相当物が含まれます。
- *R1234yf（地球温暖化係数=0.501）を使用した場合、システムには1,476 kgの冷媒、つまり0.001メートルトンのCO₂相当物が含まれます。

塗料

- 把握できる限りの情報に基づく、次の重金属の塗装内の最大許容濃度（ppm単位）は次のとおりです。
 - バリウム < 0.01%
 - カドミウム < 0.01%
 - クロム < 0.01%
 - 鉛 < 0.01%

騒音

オペレータ音圧レベル (ISO 6396:2008)	74 dB (A)
外部音響出力レベル (ISO 6395:2008)	112 dB (A)
オペレータ音圧レベル (ISO 6396:2008)	74 dB (A) *
外部音響出力レベル (ISO 6395:2008)	109 dB (A) **

*EU指令および英国指令の採用国を含む
**EU騒音指令2000/14/ECおよびイギリス騒音規制2001 No. 1701

油種類

- 工場出荷時には、エチレングリコール冷却水が充填されています。CATディーゼルエンジン不凍液/クーラント（DEAC）およびCATエクステンデッドライフクーラント（ELC）は、リサイクルできます。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。
- CAT BIO HYDO Advancedは、EU Ecolabel認証済みの生分解性作動油です。
- その他の油種類も存在する可能性があります。詳細な推奨油種類およびメンテナンス間隔については、取扱説明書または用途および設置ガイドを参照してください。

機能およびテクノロジー

- 次の機能およびテクノロジーは、燃料の節約および二酸化炭素排出量の削減に貢献する可能性があります。機能は異なる場合があります。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。
- エンジンアイドリング管理システムおよびオートアイドリングストップ機能は、アイドルRPMを削減し、熱料の効率性を最大限に高める
- 速度変更ファンにより、機械の冷却要件に合わせて回転数が調節され、燃料を節約できる
- ロードセンシング油圧システムは、ある機能を作動させるとき、それに必要な量だけ流量と圧力を供給する

リサイクル

- 機械に含まれる材質の分類と概算の質量割合を以下に示します。製品コンフィギュレーションの違いにより、次の表の値は実際と異なる場合があります。

材質タイプ	質量割合
鋼製	65.74%
鉄	14.60%
非鉄金属	1.28%
合金	0.41%
金属および非金属混合物	0.67%
プラスチック	1.10%
ゴム	11.13%
非金属混合物	0.00%
油種類	2.55%
その他	2.10%
未分類	0.43%
合計	100%

- リサイクル可能率の高い車両により、貴重な天然資源をさらに効率的に使用でき、耐用年数に到達した製品の価値が高まります。ISO 16714（土木建設機械類 - リサイクル可能率および回収可能率 - 用語および計算方法）によれば、リサイクル可能率は新品の車両のリサイクル、再利用、またはその両方が可能な質量による割合（パーセント単位の質量分率）として定義されます。
- 部品表のすべての部品は、まずISO 16714および日本CEMA（Construction Equipment Manufacturers Association、日本建設機械工業会）の基準により定義されているコンポーネントの一覧に基づくコンポーネントタイプにより評価されます。さらに、残りの部品のリサイクル可能率が材質タイプに基づいて評価されます。
- 製品コンフィギュレーションの違いにより、次の表の値は実際と異なる場合があります。

リサイクル可能率 - 96%



オフロード法2014年
基準適合

CAT製品、ディーラサービス、および産業ソリューションに関する詳細情報については、Webサイト
(www.cat.com) をご覧ください。

© 2025 Caterpillar
All rights reserved

記述の内容と仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の機械には、オプション装備品が装着されていることがあります。利用可能なオプションについては、Catディーラにお問い合わせください。

CAT、CATERPILLAR、LET'S DO THE WORK、VisionLink、それらの各ロゴ、Product Link、Fusion、S・O・S、
"Caterpillar Corporate Yellow"、"Power Edge"およびCat "Modern Hex"のトレードドレスは、ここに記載
されている企業および製品と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。

AJXQ4386-00 (06-2025)
ビルド番号: 01B
(N Am, Europe, Japan, China,
S Korea, Türkiye, Chile, Colombia)

